

田川古代史フォーラム

入場無料

邪馬台国は 福岡にあった 通説への挑戦

赤村の前方後円型
地形は人工だ!

平成31年 3月21日(木・祝)

(開場 9:00) 10:00~16:30

田川文化センター 大ホール

(〒826-0032 福岡県田川市平松町3番36号、TEL 0947-44-6470)

登壇者

安本 美典 氏

淤能碁呂 太郎 氏

福永 晋三 氏

小川 進 氏

西村 隆幸 氏 (コーディネーター)



安本 美典 氏



北九州・福岡より車で約60分

主催：一般社団法人 田川広域観光協会

共催：田川市

主管：田川広域歴史研究会

お問合せ：一般社団法人 田川広域観光協会事務局

TEL 0947-45-0700

E-mail tagawa-net@tagawa-net.jp

写真：香春町薬師の頭より撮影

登壇者紹介



安本 美典 氏

1934年、旧満州生まれ。京都大学文学部卒、文学博士。専攻は日本古代史、言語学、心理学。産業能率大学教授、『季刊邪馬台国』編集長を経て、現在「邪馬台国の会」主宰。
 主な著書に『神武東遷—数理文献的アプローチ—』(新書)中央公論社 1968年、『卑弥呼の謎』(新書) 講談社 1972年、『倭の五王の謎』(新書) 講談社 1981年、『邪馬台国ハンドブック』 講談社 1987年、『吉野ヶ里遺跡と邪馬台国』大和書房 1989年、『応神天皇の秘密』 廣済堂出版 1999年。『「邪馬台国機内説」を撃破する!』宝島社 2001年。



淤能碁呂 太郎 氏

福岡県福岡市在住。福岡市西区小呂島に4年間中学校教師として赴任。その間、中学生と研究活動を行い、解明されていない小呂島の古代史に挑み、小呂島が伝説の淤能碁呂島ではないかという結論にいたる。論文、寄稿文を九州古代史の会、日本測量協会、全国邪馬台国連絡協議会等に投稿、全国邪馬台国連絡協議会第5回個人研究発表会で1位獲得。
 2018年3月に『古事記日本神話の故郷は玄界灘の島々だった!』を出版。



小呂島 / 写真提供: 福岡市



福永 晋三 氏

1952年、福岡県生まれ。國學院大學文学部中国文学科卒業。元東京都立高校教員。國學院大學中国学会会員。東アジア比較文化国際会議日本支部会員。「神功皇后紀を読む会」主宰。
 西日本新聞筑豊版にて月2回、新説・日本書紀(やまとのふみ)を連載中。



小川 進 氏

空間技術研究所 所長。1953年生まれ。1975年、東京大学工学部金属工学科卒業、1980年、東京大学工学部大学院博士課程修了(工学博士)、1998年 コーネル大学大学院博士課程修了(PhD、農学博士)2012~2018年、長崎大学大学院工学研究科教授。現在の主な研究は赤村古墳の形態学的特徴と邪馬台国の位置、福島原発の水素爆発の機構、防犯カメラによる冤罪事件の鑑定など。

パネルディスカッション
 コーディネーター

テレビ長崎 取締役 西村 隆幸 氏

1959年、福岡市生まれ。
 1983年、明治大学法学部卒業、西日本新聞社入社。
 山口支局長、メディア編集部長、佐世保市局長、編集センター地域版担当部長、筑豊総局長などを歴任。
 筑豊総局長在任時には古代史企画「掘るばい かわずじへリテージ」事業を推進。
 2018年6月から現職。

スケジュール

時間	プログラム
9:00	開 場
10:00	開会セレモニー 風治八幡宮 浦安の舞
10:05	開会挨拶 開会挨拶 田川広域歴史研究会 会長 永原 謙太郎
10:10	来賓挨拶 来賓挨拶
10:15	映像上映 古代史探求映像上映
10:30	講演第1部 安本 美典 氏 演題 邪馬台国九州説の到達点
12:00	休 憩 長生宜子銘内行花文鏡 / 写真提供: 香春町教育委員会
13:00	講演第2部 淤能碁呂 太郎 氏 演題 「国産み神話の原点は玄界灘だった!」
14:10	講演第3部 福永 晋三 氏 / 小川 進 氏 演題 「邪馬台国」田川説の進展
15:30	パネルディスカッション コーディネーター / 西村 隆幸 氏 パネリスト / 安本 美典 氏、淤能碁呂 太郎 氏、福永 晋三 氏、小川 進 氏
16:30	閉 会